

踏み跡 <My Mountains>

房総	鋸山ダムから鋸山縦走	No.252
----	------------	--------



千葉県（房総の）山の中で観光地として一般にその名が知られている山は鹿野山・鋸山・清澄山ぐらいだろうか。鋸山はロープウェイで登って下ったことはあるが、歩いて登ったことはない。房総の山登りにしては珍しく電車を使って、しかもロープウェイを使わずに裏鋸から歩いてみることにした。

平成6年12月17日
 天気は晴れ、千葉駅8時05分発内房線館山行。保田着9時48分。身支度を整えて水を汲んで、出発は10時ちょうど。

内房線の線路に沿って少し戻ってから東へ曲がって、小さな沢沿いにゆるやかに登っていく。山あいの鋸山ダムは冷たい北風と採石場に出入りするトラックが巻き上げる埃。採石場入口に10時37分に到着。採石用道路から離れて左股の沢に入り、旧道らしき道へ。林道の行き止まりから山へ入る道がわからないので、沢の中の踏み跡を探しながら強引に登ったら10分ほどで登山道に合流できた。踏み跡が落葉に隠れているところが多く、地図と磁石が大変役に立つ。



<残酷に山肌を削りまくりトラック道が走る採石場：主稜線から見下ろす>

主稜線11時15分。谷間に広がる採石場とそこに繋がるトラック用の道路が毒々しい景色になっている。ここから方角を西南西に変えて快適な尾根歩き一時間で鋸山頂上（329.5m）に到着。

12時15分、昼食に最適な時刻に到着できた。山頂には一等三角点があり、保田・岩井方面の山並みと海岸線、三浦半島等を樹間に眺めながらの昼食。



（右上写真：保田岩井方面 右下写真：鋸山三角点）

陽があたらず寒いので日当たりのよい場所を探すことにして、休憩は早めに切り上げて12時35分に出発。

CTCアンテナ・日本テレコムアンテナ等のアンテナが建っている場所はさすがに見晴らしがよい。房総半島内と対岸の三浦半島と両方がよく見える場所を探して日向ぼっこの大休止。相模湾と伊豆半島は霞がかかっており、富士山も見えない。せっかく冬の富士を眺めることを楽しみにして来たのに残念。



下山路は日本寺側を選んだ。日本寺から根本に下って線路沿いに保田駅へ。

保田駅15時55分。タイミング良く16時05分の電車に乗ることができた。浜金谷駅と竹岡駅の間で車窓に薄らと富士をうかがうことができ、格好のフィナーレとなった。

以上